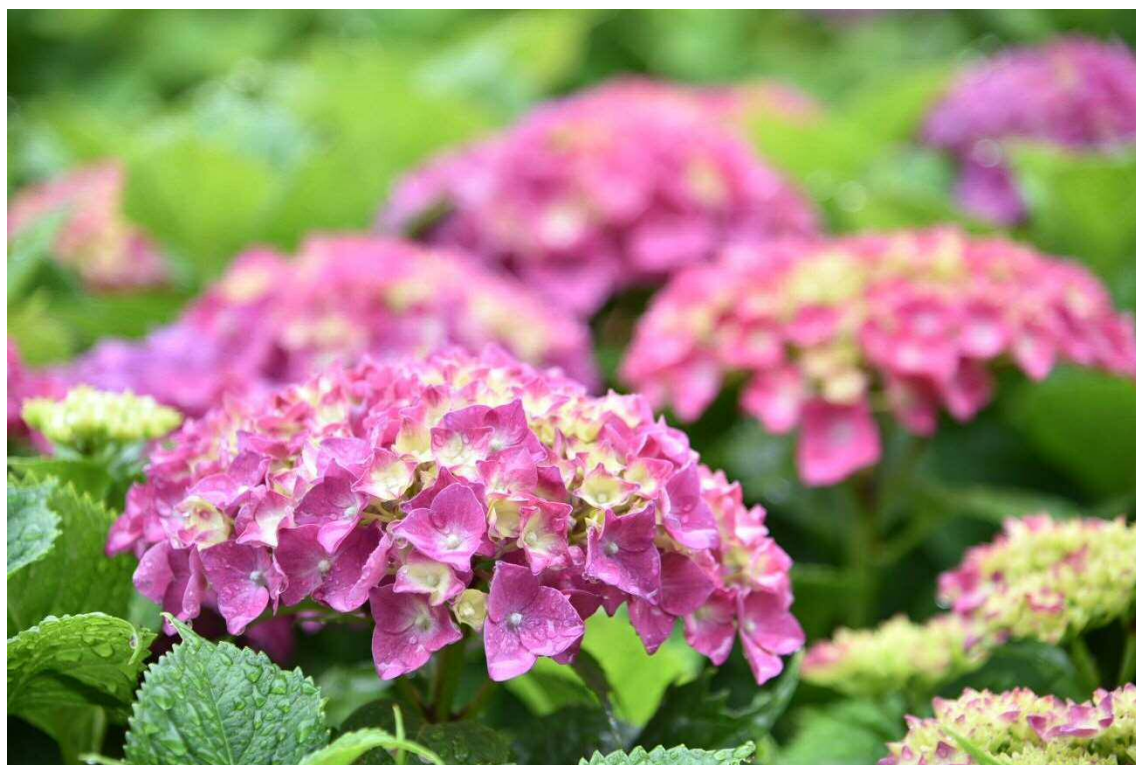


あじさいプラン 2018

(平成 30 年度千種区区政運営方針)

取組結果



千種区役所

平成30年度千種区区政運営方針（あじさいプラン2018）取組結果について

1 事業数

63事業

2 評価基準

4段階による自己評価（区独自基準）

A	目標を上回る成果があった
B	ほぼ目標どおり
C	目標を下回った
D	未実施

3 評価結果

		A	B	C	D	計
重点推進施策1 地域で支えあうまちづくり		2	33	1	0	36
	1-I 安全で安心して暮らせるまち	2	11			13
	1-II 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち		22	1		23
重点推進施策2 千種区の魅力を活かしたまちづくり		1	13	1	1	16
	2-I 誰もが愛着をもてるまち		7	1	1	9
	2-II 快適で、環境にやさしいまち	1	6			7
重点推進施策3 利用しやすい、信頼される区役所づくり		0	10	1	0	11
	3-I 区民サービスの向上、親しまれ、信頼される区役所	0	4			4
	3-II 情報の提供・区民ニーズの把握		6	1		7
計		3	56	3	1	63

平成30年度千種区区政運営方針（あじさいプラン2018）取組結果

<評価について>

- A・・・目標を上回る成果があった
- B・・・ほぼ目標どおり
- C・・・目標を下回った
- D・・・未実施

1 地域で支えあうまちづくり

1-I 安全で安心して暮らせるまち（13事業）

1-I-i 地域ぐるみで防災力を高めます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	大規模地震への備え	① 指定避難所開設・運営訓練 ・全15学区で避難所開設を想定した要素を組み込んだ訓練を実施し、新たな「指定避難所運営マニュアル」の内容を啓発した。	B
		② 出張！家庭の防災教室 ・学区や町内会、事業所などで計177回実施し、約15,700人が参加。（昨年度計148回、参加者約16,700人）	B
(2)	防災訓練	・9月に、千種区総合防災訓練を宮根小学校で実施したのをはじめ、12学区で地域住民との協働により防災訓練を実施し、延べ2,984人が参加。 ・10月に、振甫中学校における災害時医療救護所訓練の実施に協力した。 ・3月に、名古屋市立大学北千種キャンパスにおける災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施に協力した。	B
(3)	防災リーダーの育成	・全15学区中9学区で、災害対策委員の役割、避難所運営等についての講義等を通じて防災リーダー400人を育成。	B
(4)	ちくさ子ども防災キャンプ 【千種区独自】	・10月13日～14日に、千石小学校で実施。（小学4～6年生の児童49人とその保護者）災害備蓄食の試食や防災ゲーム、自分で作る就寝スペースなど、実践的な宿泊体験を実施。	B
(5)	助け合いの仕組みづくり	・避難行動要支援者に係る個人情報の保護に関する協定の締結については、平成31年3月末で9学区及び1町内会で、2年前の状況と変化なし。 ・地域での制度の話し合いは、上野学区、自由ヶ丘学区、富士見台学区で進み、区全体で80%となった。	B
(6)	救命講習	・応急手当についての知識、技術を広く区民に普及するため、消防職員及び及び応急手当普及員の資格を持つ消防団員により、救命講習（普通救命講習5回、入門コース8回、一般救急講習6回、受講者528人（昨年度574人））を実施。	B
(7)	家具の固定ができるボランティアの派遣	・家具固定が自らできない区民に対する支援のため、家具固定を実施するボランティアを依頼世帯に派遣し、施工を実施。（ボランティア登録13人、施工世帯数57件（昨年度施工世帯10件）	A

1-I-ii 交通安全や防犯活動への取り組みを推進します		
取り組み名	取組結果	評価
(1) 交通安全啓発活動の推進【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園（17園）、小学校（15校）、高齢者（12学区）で交通安全教室を実施し、見付・自由ヶ丘・富士見台学区では「いきいき運転講座」を開催。 ・椛山・愛知・名古屋商業高校で自転車安全利用、損害賠償保険加入の啓発を実施。 ・名古屋大学で自転車安全利用、飲酒運転根絶、シートベルト着用徹底の啓発を実施。 ・春、夏、秋、年末の市民運動期間に、自動車学校、商業施設、交差点などで啓発活動を実施するとともに、広報車による広報活動を実施。 ・交通危険箇所である県道田糶名古屋線の主要交差点で啓発活動を実施 	B
(2) 地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・市外転入者の転入届受付時に、市民課窓口で町内会・自治会加入促進リーフレット、お問い合わせハガキ付チラシを配布。（取り次ぎ2件） ・町内会・自治会への加入促進及び地域コミュニティの活性化を図ることをテーマとして、町内会長・自治会長等を対象に、講演と意見交換会を実施。（参加者48名） ・要望のあった町内会・自治会等の地域団体に加入促進リーフレットを提供。 	B
(3) 防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を対象とした特殊詐欺被害防止講話等をコミセン等で20回実施。 ・金融機関やATM設置店舗等で特殊詐欺被害防止キャンペーン（18回）、住宅対象侵入盗防止キャンペーン（5回）、自動車関連盗難防止キャンペーン（7回）を実施。 ・毎月26日（ツーロックの日）に自転車盗難防止キャンペーンを9回実施。 ・青色回転灯装備車による防犯パトロール（25回）を実施するとともに、学区防犯パトロールに（11回）参加。 ・ひったくり被害防止、女性や子供を対象とした防犯啓発活動等を14回実施。 	B

1-I-iii 子どもや高齢者を区民全体で見守ります		
取り組み名	取組結果	評価
(1) こあらっち見守り大作戦【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・千種区医師会、千種区歯科医師会所属の医療機関にポスターを283枚配布。 ・区内企業にこあらっちステッカーを60枚配布するとともに、のぼり旗とポスター掲出を依頼。（区内協力事業者数平成26年度からの5年間で延べ1,660社） ・特殊詐欺被害防止講話や各種キャンペーンの配布グッズに、標語入りシールを貼りPRを実施。 ・福祉課が作成する「こあらっち安心シート」に標語を掲載。 	A
(2) 千種区子ども安心週間【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・夏と冬に千種区子ども安心週間（各2週間）を実施し、7月にイオンタウン千種でキャンペーン（参加者約100人）、12月に冬の青少年育成区民大会を講堂で開催。（参加者約300人） ・小学校1、2年生に防犯ドリルを2,910枚配布。 ・こあらっちぬり絵の応募287点をあじさいひろばに展示。 ・小中学校29校に啓発ポスターを配布。 ・子どもいけばな体験教室（参加者24人）を通じた啓発を実施。 ・広報車によるパトロール活動（計10回）、夜間パトロール（1回）に参加。 	B

1-Ⅱ 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち（23事業）

1-Ⅱ-ⅰ 高齢者の安心してはつらつとした生活を応援します

取り組み名		取組結果	評価
(1)	地域で安心して暮らすための支援づくり	① 認知症サポーターの育成 <ul style="list-style-type: none"> いきいき支援センターと連携して、認知症サポーター養成講座（受講者数1,272人）を開催。 9月に、はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練を椋山女学園大学で実施。（参加者70人） 	B
		② 高齢者と学生の交流促進【新規】 <ul style="list-style-type: none"> 2月に愛知淑徳大学との共催で、認知症教室を星ヶ丘・千石小学校（参加者延べ34人）で実施。 	B
		③ 高齢者の見守り活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 10月の高齢者実態把握調査の際、こあらっち安心シートをひとり暮らし高齢者世帯、高齢者のみ世帯に配布。 12月に、千種区高齢者見守りネットワーク連絡協議会を開催。 	B
(2)	高齢者のいきいき活動応援	① 高齢者の健康支援【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> 一般介護予防事業のいきいき教室（拠点型）のなかで、からだまるごと元気教室（12回、参加者延べ148人）、ひざ楽ウォーク教室（2回、参加者延べ58人）、男性クッキング（3回、参加者延べ62人）、つるかめ健幸コンサート（5回、参加者延べ550人）を実施。 	B
		② 仲間づくり支援 <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会活動（4回、参加者延べ487人）を支援。 10月の作品展（来場者450人）や、1月の健康講演会（参加者150人）、2月の演芸大会（参加者350人）を支援するなど、年間を通して千種区老人クラブ連合会活動を支援。 	B
(3)	認知症に対する正しい理解と知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域連携の会と連携して、市民講座（毎月1回、参加者延べ1,548人）、専門職研修会（隔月、参加者延べ181人）、及び11月に市民シンポジウム（参加者230人）を実施。 	B
(4)	千種区版エンディングノート【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 千種区医師会と連携し、千種区版エンディングノートを作成し、認知症市民講座などの機会に合わせて約2,700部を配布。 	B
(5)	なごやか収集	<ul style="list-style-type: none"> ごみや資源を所定の排出場所まで持ち出すことが困難な、一定の要件を満たした高齢者や障害のある人を対象に、玄関先で収集することにより排出を支援。（排出支援世帯372世帯） 	B

1-Ⅱ-ii 障害のある方の自立と社会参加を応援します		
取り組み名	取組結果	評価
(1) 障害や障害のある方への理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、障害者自立支援連絡協議会の定例会、事例検討会を開催。 障害者自立支援連絡協議会として、事業所マップ、事業所ガイドブックを作成し、区役所にて配布したほか、11月に障害に関する啓発映画会を開催。（参加者約130人） 	B
(2) ヘルプマーク・ヘルプカードの普及【新規】	<ul style="list-style-type: none"> 7月に、ヘルプマークの配布を開始し、区公式ウェブサイト、障害者自立支援連絡協議会等で周知。（912個配布） 	B
(3) 授産製品の販売促進	<ul style="list-style-type: none"> あじさいひろばにて、授産製品の常設展示やお弁当、パンなどの販売を実施。 2月に、イオンタウン千種にて授産製品の販売を実施。 3月に、あじさいひろばで授産製品の特別販売を実施。 	B
(4) 障害者基幹相談支援センターなど関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 障害者虐待の防止や障害者差別の解消に向けて、障害者差別相談センターや虐待相談センター主催の研修会に参加。 	B

1-Ⅱ-iii 子育て家庭を応援します		
取り組み名	取組結果	評価
(1) エンゼル訪問（赤ちゃん訪問）	<ul style="list-style-type: none"> 生後3か月から6か月の第一子の赤ちゃんのいる家庭に加え、市外転入した生後6か月から1歳未満の第一子の赤ちゃんのいる家庭に対しても独自に訪問を実施。（714件中686件（うち転入者38件中34件）訪問、訪問率96.1%） 	B
(2) ふれあい思春期セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員など地域の役員や、子育て中の親子との協働で、小学校（8校、参加者延べ658人）で講話、お産劇、体験学習（乳幼児とのふれあい体験、妊婦・子宮体験）を実施。 	B
(3) 子育て家庭の交流支援	① 子育てサロン <ul style="list-style-type: none"> 学区主催の子育てサロンが全15学区で開催。 子育てネットワークちくさによる支援（4学区）、区独自の補助金の交付（7団体）を実施。 	B
	② 子育て広場 <ul style="list-style-type: none"> 千種保育園連絡会と連携して、子育て広場を開催。（参加者173人） 子育てネットワークちくさと連携して、ミニ子育て広場を7回開催。（参加者延べ1,111人） 	B
	③ 転入者のつどい～こあらっち広場～ <ul style="list-style-type: none"> 市内転入と市外転入者ではニーズが異なるため、参加対象者を市外転入者に限定して、年4回区内の子育てに関する情報提供及び転入者同士の交流会（参加者延べ44組、92人）を実施。 	B
	④ 親子クッキング教室【新規】 <ul style="list-style-type: none"> 乳児期からの「食」に関わる体験を増やすことを通じて、親子が自ら食事の栄養を考え、将来的に健康なこころとからだ、生活環境を構築できるよう支援するため、年2回開催。（参加者延べ29組、70人） 	B
(4) 児童虐待の防止【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止推進月間の5月と11月を中心に、オレンジリボン着用推進などの広報、啓発活動を実施。 10月に、保護者を対象とした子育てに関する公開講座を開催。（参加者65人） 子育て講習会を6月（参加者18人）、11月に3回連続の講座を（参加者70人）開催。 	B

1-Ⅱ-iv 地域における健康づくりを応援します

取り組み名		取組結果	評価
(1)	高齢者健幸チャレンジ大作戦	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者を対象に、ポイント制度を活用し、保健センター事業、各学区サロン等への参加と自己目標の実行により記念品を贈呈する事業を実施。（参加カード配布数1,000人超、50ポイント達成者延べ108人） 講師による健幸チャレンジポイント講演会（2回、参加者延べ52人）を実施。 	C
(2)	歯の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園でフッ化物洗口（7園）を実施し、歯の健康づくりを推進。 5月に、千種区歯科医師会と協働し歯と口の1日健康センターを開催。（参加者353人） 11月に、8020達成者（196人）及び、歯と口の健康週間ポスター優秀作品出品者（14人）を表彰。 	B
(3)	健康づくり活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ロコモ予防教室を保健センター、コミセンなど（15回、参加者延べ281人）で開催。 健康づくりに関する講座をコミセンなど（7学区、参加者延べ367人）で開催。 	B
(4)	出張がん検診	<ul style="list-style-type: none"> 検診車による乳がんの検診を、各地域（6回、受診者延べ170人）で実施。 	B

2 千種区の魅力を活かしたまちづくり

2-I 誰もが愛着をもてるまち（9事業）

2-I-i 歴史や自然と触れ合うまちづくりをすすめます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種まちかど発掘事業 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> 11月に開催した「城山の紅葉を楽しむ～まちの魅力をみつけよう～」と題したイベントの中で、城山八幡宮・相応寺にて紅葉の名所めぐり（参加者51人）と、住職による講話「相応院お亀の方について」及び講師による講演会「遊楽図屏風（相応寺屏風）について」（参加者122人）を実施。また、同日揚輝荘にてコンサート（参加者50人）とアート展示（椋山女学園大学アート展示とワークショップ）を開催。 ボランティアカメラマンを活用し各種イベントの広報の充実を図った。 	B
(2)	アジサイいっぱい運動 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> コミセン、どんぐりひろば等に計440株を植栽。 6月の千種区アジサイ月間をPRするとともに、写真の募集や写真撮影講習会を開催し、8月にあじさいひろば、10月に星ヶ丘ギャラリーで写真を展示。 茶屋ヶ坂公園において、7月にアジサイ剪定講習会（参加者40人）や1月に寒肥講習会（参加者26人）を実施。 	B
(3)	城山・覚王山地区の歴史的資産を活用したにぎわいづくり 【新規・千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> 城山・覚王山地区の歴史的建造物の活用及び一体の回遊性を含めた面的なにぎわいを生み出すための方策を調査・検討するため、有識者の意見を聞き、地域団体と協議した。 11月に、シンポジウムを開催（参加者54人）し意見交換を実施。 	B
(4)	自然観察会	<ul style="list-style-type: none"> 4月及び10月に、揚輝荘、東山動植物園1万歩コースで自然観察会（参加者37人）を実施し、区内の自然環境を活かし、生物多様性への理解を深めていただく機会を提供。 	B

2-I-ii 元気で、皆がつながる、温かいまちづくりをすすめます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区民まつり	<ul style="list-style-type: none"> 9月30日に、吹上公園で「笑顔がつながる 楽しい千種」をテーマに開催予定だったが、台風のため中止。 	D
(2)	文化芸術活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> 5月と10月に、華道協会と連携していけばな展を開催。（入場者延べ1,040人） 10月に区民美術展（出展作品数123点、入場者延べ301人）を開催し、区公式ウェブサイトに優秀作品を掲載。 千種文化小劇場との共催で、俳句・川柳コンクールを開催し、俳句部門114句、川柳部門115句、子ども部門268句の応募の中から、10月に千種生涯学習センターで表彰式（参加者100人）を実施するとともに、区公式ウェブサイト及びあじさいひろば等に入賞作品の掲載・展示を実施。 	B
(3)	生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> 区内競技団体や地域との連携により、年間を通じて各種スポーツ大会を開催。（参加者延べ3,932人） 	B

2-I-iii 親しみやすく特色のある情報を発信します

取り組み名		取組結果	評価
(1)	マスコットキャラクター「こあらっち」のPR 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> • 区のイベントやキャンペーン、地域のイベント等へ参加してPRを実施。（区民アンケートにおける認知度38.7%） • 「こあらっち」グッズを製作し、啓発やPRに活用。 • 年間出動回数34回（うち外部団体等26回）にとどまった。 	C
(2)	あじさいひろば 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> • 常設展示のほか、企画展示として、各種イベントのパネル展示、写真展、作品展などにおける作品を展示し、年間を通して隙間なく広報を展開。 	B

2-II 快適で、環境にやさしいまち（7事業）

2-II-i きれいで気持ちの良いまちづくりをすすめます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	空家の適切な管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の方より情報提供のあった空家について、文書等による適切管理の依頼により、平成25年度から続く空家による雑草の繁茂や害虫発生などで問題になっている29件について、適切な管理がされた。また、9件は空家の撤去や新築物件の建設などにより問題が解消。 • 特定空家7件のうち、外壁の修復などにより2件が特定空家の指定を外れ、1件が更地となり解消された。 	B
(2)	住居の不良堆積物への対策 【新規】	<ul style="list-style-type: none"> • 相談件数は4件、いずれも条例における「不良な状態」には非該当。適切管理の依頼により3件が堆積物のない状態を維持。1件は取り壊し協議中。 	B
(3)	空地をきれいにする運動	<ul style="list-style-type: none"> • 6月から、各学区の協力を得て、空地をきれいにする運動を進め、空き地の草刈や樹木の剪定を呼びかけた結果、対象箇所で除草が実施。（実施率92.2%） • 空地所有者の自宅へ訪問し除草依頼することで、案件解消となったケースがあった。 	B
(4)	ペットの飼い主マナーの向上 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> • 9月に、宮根・高見学区でケージの中で平静を保つ、決まった場所でトイレを済ませることができる等、必要なしつけを通して飼い主のマナー向上を図るペット同行避難訓練を実施。 • 千種わんだフルサポーターに1,078人（累計）が登録。 • 職員によるパトロールや学区等との協働によるパトロールを実施。（20回） • なごやかキャットサポーターに68人（累計）が登録し、見守り地域が8地域（累計）に拡大。 	A

2-Ⅱ-ii 環境にやさしいまちづくりをすすめます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区クリーンキャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 6月に、全15学区（参加者延べ3,121人）で、小学校や公園を中心にクリーンウォーキングや啓発活動を、区民との協働で実施。 	B
(2)	緑のカーテンの普及	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ等の環境保全に理解と関心を深めてもらうため、5月に緑のカーテンづくり講習会を実施。（参加者29人） 	B
(3)	資源・ごみの分別等の周知	<ul style="list-style-type: none"> 広報なごや及び区役所1階行政情報モニターに、資源・ごみの分別方法等について毎月掲載。 3月20日から4月10日まで、区役所にごみ案内所を設置し、転入者を中心にごみの分別についてPRを実施。 小学4年生を対象に、ごみ分別を学んでもらう出前講座を2回開催。 6月と11月に、ごみの分別マナーアップキャンペーンを実施。 収集作業時におけるスプレー缶類の適正排出に関する啓発・指導を実施。 大学や専門学校に「ごみの減量・資源化ガイド」概要版・外国語版を配布。 	B

3 利用しやすい、信頼される区役所づくり

3-I 区民サービスの向上、親しまれ、信頼される区役所（4事業）

3-I-i お客さまの立場になって親切で丁寧な対応に努めます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	窓口環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> フロア案内体制の最適化（庁舎案内件数77,564件、記載指導補助件数26,033件）に努めるとともに、華道協会の協力により、1階に生け花を展示。 タブレット端末のテレビ電話などを利用し、障害のある人や外国語を話すお客さまとの円滑なコミュニケーション（外国語対応利用件数189件）を図った。 	B
(2)	接遇の向上	<ul style="list-style-type: none"> 4月に、全所属において接遇・CS向上宣言を策定し、年間を通じて実践。 11月に、外部講師による相手の立場や気持ちに寄り添い違和感なく満足していただける窓口対応研修を実施。（参加者22人） 11月に、窓口アンケートを実施。（満足度97%以上） 	B

3-I-ii 職員一人ひとりが意識改革に努め、業務改善に取り組みます

取り組み名		取組結果	評価
(1)	業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 全所属において業務改善「すみやか業務改善運動」の取り組みを実施。 10月に、新規採用者及び希望職員と区長との意見交換会を実施。 区将来ビジョン策定に向け、プロジェクトチームを立ち上げ、現状、課題、成果指標、今後の取り組み方針を検討。 	B
(2)	庁舎内環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターの診察室待合にソファを整備。 あじさいひろばにパンフレットスタンド、パネルを整備し、広報の充実をはかった。 	B

3-II 情報の提供・区民ニーズの把握（7事業）

3-II-i 区政に関する情報提供を充実します

取り組み名		取組結果	評価
(1)	広報なごや（区版）	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、その時期にあった話題を特集するとともに、12月にコラム記事（こあらっちレポート）を掲載するなど、身近で役立つ情報をわかりやすく提供。（掲載内容の満足度89.2%） 	C
(2)	学区広報板等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ポスターを学区掲示板に掲出したり、チラシを町内会や自治会で回覧するなど、防災、防犯、交通安全等の各種行政情報を周知。 	B
(3)	区ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> 区ウェブサイトの記事更新件数は、226件で（前年度205件）で前年度比10%増。 アクセス数は、522,076件（前年度530,696件）で前年度比1.6%減。 	B

3-Ⅱ-ii 区民の皆さまのご意見をきちんとお聴きします

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区区民会議	<ul style="list-style-type: none"> 7月に、日頃から区政にご協力いただいている方を対象に「区民ブロック会議」を開催。（参加者87人） 11月17日に、公募により区内在住、在勤、在学の方を対象に「区民の集い」（参加者：在住9人、在勤3人、在学8人、合計20人）を開催。若い人の意見も聴取することを目的とし、区内の高校生や大学生が参加。 	B
(2)	区民意識調査（区民アンケート）	<ul style="list-style-type: none"> 区内在住の満18歳以上の男女2,000人に無作為抽出でアンケートを実施。（回答579人、回収率29.0%） アンケート結果に基づき、次年度の区政運営方針（あじさいプラン2019）の策定に向けた方針づくりに活用。 	B
(3)	千種区わかもの会議	<ul style="list-style-type: none"> 広くわかものからの意見を聴取するため、区の将来像についてワークショップ形式の会議（参加者延べ19人）を8月から11月に各月1回開催。12月に、成果発表会を実施し、学生から福祉、魅力発信、スポーツに関する提案を受けた。 	B
(4)	地域担当制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各学区を担当する職員が、学区の防災訓練や敬老会、成人式等に参加。 区政運営方針（あじさいプラン2018）の学区連絡協議会での説明に併せて、地域の要望事項の把握に努めた。 	B